

マイスターだより

川西町立小松小学校
令和8年10月27日（火）No.33
文責：情野 夏美

マイペース学習への挑戦④

中川先生が、5年算数「平均」でマイペース学習に挑戦してくださっています。昭弘先生との2人体制で児童の進捗状況を丁寧に見取り、前向きな声かけを行いながら、進めていらっしゃる姿を拝見し、感心しました。その様子をお伝えします。実は、中川先生が作っていただいた教材で、私も授業を行っています。

①全員が真剣に課題に向き合う姿

学習が始まると鉛筆の音、電卓を打つ音しか聞こえない時間がありました。誰も違うことをする人がいなく、全員が自分の課題に真剣に向き合っていました。1学期に行ったマイペース学習では、教室内の好きなところで、好きな人と自由に学習をおこなったのですが、今回は、みんな前を向いて、一人で「集中する時間」と、困ったり、質問があったりしたら友達に聞きに行く「モニタリングの時間」を行っていました。落ち着いて、自分のやるべきことを把握して、黙々と学習する姿に驚きました。



②丁寧な見取りと褒める・認める・励ます声かけ

中川先生と昭弘先生は、児童一人一人の進捗状況やつまづいている所について、よく見取り、ヒントやアドバイスを行っていました。また、丸を付けながら児童の頑張りを褒め、認め、励ます声かけを何度も、誰にでも行っていたりしました。児童のやる気を高めるような声かけをまねしたいと思いました。



③教科書を基本としたロイロの教材

児童は、ロイロの教材のステップ（学習の指示）を頼りに学習を進めていますが、詳細の課題や学習内容は、教科書を見て確認します。教科書を隅々まで使うことが大事だと改めて感じました。

また、自分の考えや、教科書に書いてあることを、ノートに、自分なりに工夫して丁寧に分かりやすくまとめる姿が見られました。ここでも「自己調整力」が働くと感じました。

